

### ペットボトルキャップ・プルタブで あなたのハートを届けます

城東地区 福祉部会

プルタブ集めは「公害を出さない人づくり」と「空き缶散乱公害をなくす」ことを目指しています。みなさん一人一人の小さな協力の積み上げによって、大きな成果が得られます。

福祉ひろばに回収コーナーを設置してから社協に届けた量は、キャップが13kg・プルタブが4kgにもなりました。これは、ペットボトル五千二百本、缶ビール八千個分に相当します。

ペットボトルのキャップは、業者を経由して、「世界の子どもたちにワクチンを贈る」活動へとつながっています。

子どもさんからお年寄りまで誰もが気軽に参加できる運動なので大勢の皆さんご協力お願いしますね。

◆**注意点**◆回収するキャップは、清涼飲料水のみを対象・**醤油等のキャップは集めません**。



回収されたプルタブ



回収されたキャップ



### 「七夕人形作り」と「ほうとうの会」

元町児童館館長

赤羽ひろ美

7月23日に、育成会、3世代交流、児童館の共催で、七夕人形作り、ほうとうの会が行われました。七夕人形は可愛らしい物から大人向きの渋めの物まで、それぞれに素敵なお人形が出来上がりました。参加者も小さな子どもさんから年配の方まで総勢102名と予想以上に多く、用意した材料が足りなくなるのでは、と心配されたほどでした。

又、ほうとうは、小豆・ゴマ・きな粉の三種類がいろいろ良く盛りつけられ、皆でおいしくいただきました。甘いほうとうは初めてという人もいて、ほうとうについての説明を聞きながら、松本地方の伝統を、目からも舌からも楽しんだ一日となりました。

### AEDの操作も覚えめました

民生児童委員

坂井 勉

《サッカー選手練習中に倒れる、もし「AED」が有ったら》の記事が紙上を賑わした事は皆さんも記憶に新しいと思います。私たちは、いつ、どこで、突然の病気やけがに遭遇するか予測もできません。

このような時、応急手当の方法を知っていればちよつとは役立つかも知れません。10月14日民生児童委員14名は、「救命応急手当講習会」を受講する機会がありました。当日は受講経験が初めての人もいて、やや緊張気味でのスタートでしたが、講師の丸の内消防署青沼救急救命士の親切な指導により、救急隊



救命応急手当講習会

が到着するまでの傷病者に対する心肺蘇生法の手順と「AED」の操作方法について一人一人が実習しながら有意義な講習会ができました。少しは自信がつけました。